

# 討 論

議案等に対する討論は次のとおりです。

- 議案第3号 反対の立場 1件
- 賛成の立場 1件
- 陳情第1号 賛成の立場 1件
- 陳情第2号 賛成の立場 1件
- 陳情第3号 賛成の立場 1件

議案第3号に対する討論(要旨)は、次のとおりです。

## 反対討論

令和2年度一般会計決算額は、歳入232億9、406万円、歳出221億3、187万4千円、実質収支は9億6、377万3千円の黒字となった。一般会計関連の基金残高は約50億5千万円である。

歳入歳出ともに約65億円の増となった理由は、広域ごみ処理施設整備事業の本市負担額29億687万円について、国の震災復興特別交付税約21億6、076万円と、合併特例債6億9、500万円の起債を行なったこと、コロナ対策関連の国庫支出金約44億5千万円(コロナ対応地方創生臨時交付金7億5、500万円、特別定額給付金事業35億8千万円、子育て世帯と一人親世帯への臨時特別給付金事業9、500万円等)があったことによる。

自主財源のうち、市税収入総額は約39億847万円、収納率は滞納分を含め92・3%で前年度より0・4%上昇し、収入未済は約3億300万円で前年度より3%減少、不納欠損処理は約2、486万円で前年度より28・5%減少した。新型コロナウイルス感染症が社会全体に大きなマイナス影響をもたらした中でありながら、市民の方々は、納税に努力された。そこで、歳出のあり方が、市民の期待に応えられたのか検証が必要である。

1年間の出生数155人、死去588人、転入より転出が107人多く、市の人口減少が進んでいる。市内産業の維持継続が危惧される。子育てしやすいまちづくり、市の基幹産業である農業継続のための施策、新規就農者への支援策等、市独自の積極的な施策展開が必要ではないか。

コロナ禍、医療、介護、保育等の現場は、行政からの支援を強く求めているが、国県の施策のほかは、介護事業所に一律10万円の支援金支給、備蓄マスクの配給、寄付されたマスクや消毒液の配付であった。コロナ感染の脅威を強く感じていた時期に、安全安心に向けた情報発信、高齢者等への安否確認や働きかけ、医療介護保育等の職場への支援など、市行政の取り組みがもっとほしかった。

国のコロナ対応地方創生臨時交付金は、主に小中学生の1人1台タブレット整備事業、地域応援クーポン券発行事業に使われたが、

医療介護保育等の事業所や従事者に対する市独自の支援にも使われるべきだった。

3市共同の一般廃棄物処理施設と最終処分場整備費の本市負担は約29億円、今後、中継施設・付帯関連整備の負担も見込まれる。ごみ処理の広域化は、費用負担少なく合理的な事業が目的とされたが、市にも市民にも重い負担が懸念される。

## 賛成討論

令和2年度決算は、新型コロナウイルス感染症対策に係る横断的な取組や広域ごみ処理施設整備事業等により、歳入総額が前年度比で39・2%増の232億9、406万円、歳出総額では40・6%増の221億3、187万4千円と、合併以来最大規模の決算額となった。

しかしながら、実質収入額では9億6、377万3千円の黒字を堅持し、また、実質公債費比率、将来負担比率など、財政の健全化を客観的に不健全化判断比率でも、国の基準を下回るなど堅実な財政運営がなされたものと評価する。

歳入では、自主財源として市税の徴収率が92・3%と、前年度に比べ0・4ポイント上昇したが、市税収入は前年度より4、187万5千円減少している。執行部においては、第2次匠瑤市財政健全化計画に位置づけられた市税収入確保のための様々な施策を講じながら、なお一層、財源確保に取り組みされるよう要望する。

また、歳出では、東総地区にお

ける広域ごみ処理施設が完成し、本年4月から供用開始された。広域事業としてのメリットが最大限に発揮され、市民サービスの向上となるよう期待したい。

このほか、長期にわたる新型コロナウイルス感染症拡大への対策として、市独自の支援策についても間断なく実施されてきたものと評価する。

教育分野においては、GIGAスクール構想に基づく小・中学校への1人1台パソコンが整備され、教育環境の充実が図られたところである。

また、保健分野では、産後の母親に対する心理的、身体的な支援等を行う産後ケア事業が創設されるところにも、防災分野では、災害

時における情報伝達手段の確保として小学校の体育館等に公衆無線LANの環境整備が行われるなど、太田市長が市政運営に当たり掲げた「一つ上のまちづくり」が着実に進められている。

本定例会では、本市の財政状況と今後の対応等について、執行部からの詳細な説明があり、太田市長からは、財政健全化に向けて全庁体制の下、スクラップアンドビルドを徹底し、なお一層歳入の確保と歳出の削減に取り組むとの決意が表明された。今後も市財政健全化計画を推進され、将来にわたる持続可能な財政運営の転換に向けて、最大限の努力を払われるようお願いするものである。

## 令和3年(2021) 8月▶10月 議会日誌

- 8月 3日 八戸水道企業団議会令和3年8月定例会
- 18日 議会報編集委員会
- 26日 令和3年第2回九十九里地域水道企業団理事会
- 31日 議会運営委員会
- 9月 3日 9月定例会開会、本会議【議案上程】
- 8日 本会議【大綱質疑】、予算決算常任委員会
- 9日 予算決算常任委員会
- 10日 総務常任委員会
- 13日 文教福祉常任委員会
- 16日 本会議【一般質問】、全員協議会
- 17日 本会議【一般質問】
- 22日 本会議【採決】、全員協議会、9月定例会閉会
- 10月 11日 東総地区広域市町村圏事務組合議会運営委員会
- 13日 議会報編集委員会
- 15日 東総地区広域市町村圏事務組合議会臨時会
- ” 東総地区広域市町村圏事務組合議会全員協議会
- 18日 東総衛生組合議会10月定例会
- 25日 東総地区広域市町村圏事務組合議会9月定例会
- 26日 千葉県北総地区市議会正副議長会議員研修会
- 28日 議会改革等特別委員会議員研修会

※以上主なもの